

八幡の大罷業の原因となる

罷業資金の準備がきこ労働運動は失敗に陥り易い

賃金を松懈して

其識者語る

八幡製鐵工場工員の第二次罷業は、最初工場の意氣の狂熱なると、既期所の態度の剛硬なるとに依り、此別では一二ヶ月は職組合の勝利を経ずる間に職組合の勝利をする者もあつたが

○收入の杜 總に依る職工各の生産の不景況

状況を窺らせ、その以前、「罷業」の傾向を見せて居る中に、労友が、方

れの傾向の発現が甚しく召喚され

○七日道子会を失つた後になつたので、局外からの調停者が意外

に勢を張りて、一時扇を拂ふに理

れるべき秘密とはなつた。今度の罷業に於て局外の調停者は調

べく、昨工場の調停者は調

明が今日迄あんな苦情制度を敷いたもの

で、職工の要求として懲罰遅延を

居た事實を天下に曝露したもの

が、決して居る中には、労友の言葉

が無い。

○正反対に、豫謀

して貢任を逃避しようとして居る様

に注意し、職工の生活を考慮した客

た。何萬といふ労働者に「公」であ

るところの物論の八景しい

際に勞働問題に關する對話一冊も

云々にせぬ事を言明して博らぬとは

云々はア恋ての労働者は無能第

の官吏といふもの、顧の程は推

して知るべきではないか、それか

ら労働者達もまた

つて思ふが、恐るに思ふが、このボルシェイクの宣傳位には未だから、市に

乗して居や

レックスク方

の官學校生

時に操縦が

いたるが、

は此の

の手に

市を逃れ

りの逃亡者

が此の

の手に

市に

乗して居や

市に